

☆教科書の「木竜うるし」を読んで答えましょう。

一 登場人物はだれですか。二人書きましょう。

(権 八) と (藤 六)

二 四「ふちの底」の場面を読んで答えましょう。

① 権八がおったまげたのはなぜですか。一つ選んで○をつけましょう。

() 木竜が本当に生きていたから。

(○) 木竜が生きているように見えたから。

() 藤六がおどろかせたから。

② 権八は気のせいでいろんなふうに見えるのはなぜだと考えましたか。一つ選んで○をつけましょう。

(○) 自分が悪いことをしているから。

() 自分がいいことをしているから。

() だれかがおどろかせているから。

③ 藤六は、うるしをほしがらない理由をどう説明しましたか。一つ選んで○をつけましょう。

() うるしをさわるのがいやだから。

() うるしをとるのがめんだから。

(○) 今のままでごはんが食べられるから。

④ 権八の「・・・」というせりふは、どんな様子を表していますか。いちばん合うもの一つに○をつけましょう。

(○) 権八がじっと考えている様子。

() 権八がぼうっとしている様子。

() 時間が過ぎていく様子。

⑤ P120の最後の行の「ふうん、やっぱり木竜かあ。」(A)というせりふとP121の9行目の「藤六よ、こらどうするだ？」(B)のせりふは、どのように音読するとよいでしょう。□から選んで、記号を書きましょう。

(A) ・ ・ ・ (イ) (B) ・ ・ ・ (エ)

ア おこりながら、大きな声で。	イ たしかめながら、ゆっくりと。
ウ くやしそうに、強い口調で。	エ ずるそうな感じで、たずねるように。

三 次の言葉の意味に合うほうに、○をつけましょう。

① えらいめにあう。 () りっぱな人に会う。

(○) 大変なことになる。

② 武者ぶるいする。 () 気持ちが高ぶって、体がふるえること。

() 武士のようにあらあらしくふるまうこと。

四 () に合う言葉を、□から選んで書きましょう。

① よく (思案) してから、物事を始める。

② 姉は明るくて、(気だて) のいいひとだ。

③ さいふを落とした人がいて、(気のどく) だった。

④ この店のパンは、おいしいこと (うけ合い) だ。

思案・安心・気のどく・気だて・うけ合い